

小寺記念精神分析研究財団主催（2026年度）

## 力動的理解にもとづくロールシャッハ解釈

2021年度から開講したロールシャッハセミナーで、2026年度で第6期を迎えます。

多くの臨床実践が、精神分析の影響を受けながら発展してきました。ロールシャッハ法はこの代表例の一つと断言していいでしょう。かつては David Rapaport や Roy Schafer をはじめとした優れた精神分析家が、この臨床技法の体系化に貢献しました。本邦でも、小此木啓吾と馬場禮子が体系化した力動的理解の手法は、生きた事例理解を可能にするものとして、広く現場に受け入れられています。

本セミナーでは、この小此木・馬場による解釈技法を足がかりにしながら、ロールシャッハ事例を紐解いていきます。

毎回、事例提供者のプレゼンテーションに対して、講師2名が見立てと理解を示します。事例提供者を交えた3名の討論に、セミナー参加の皆様が加わることで、多角的な事例理解が展開することでしょう。

このセミナーでは、「担当講師から正解を学ぶ」という非臨床的なスタンスから脱却し、臨床素材から自由に連想し、生きた対象者理解を得られることを目指したいと思います。

ロールシャッハ法を通して、臨床素材を分析的に考える視点を学びたい皆様のご参加をお待ちしています。

**講師：**吉村 聡（上智大学）、北村麻紀子（個人開業）、  
人見健太郎（みとカウンセリングルームどんぐり）

**対象：**ロールシャッハ法の基本を習得している者（経験年数は問わない）  
※ ロールシャッハ体系は、片口法または包括システムに準拠する

**開催形態：**現地と Zoom 併用によるハイブリッド方式  
現地＝小寺記念精神分析研究財団セミナールーム  
※8/23のみTKP市ヶ谷もしくはTKP新宿で開催予定

**定員：**50名（現地参加定員12名〔先着順〕を含む）

**日時：**全6日間（第4日曜、13時半～17時00分）  
入門編（講師による基礎講義）：5/24  
事例検討編：7/26, 8/23, 9/27, 10/25, 11/22

**受講料：**36,000円  
※ 本セミナーは臨床心理士の資格更新のための「定例型研修会」として承認されています。

**申込方法：**下記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。  
<https://forms.gle/pdwNDZbpbPwwwB5r8>



**申込期限：**2026年3月24日(火)～5月10日(日)

**問い合わせ：**小寺財団事務局 [kodera.fps@gmail.com](mailto:kodera.fps@gmail.com)